

大分県公立高校入試徹底分析【社会】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	60点
問題構成	大問5題。大問1は、世界地理と日本地理。大問2は、歴史は世界史を一部含み、古代～近現代。大問3は、公民。大問4は、地域の活性化をテーマにした地理・歴史の融合問題。大問5は地理・歴史・公民の融合問題が見られた。 地理は、大問1で12点、大問4で5点、大問5で4点の計21点 歴史は、大問2で15点、大問4で5点、大問5で1点の計21点 公民は、大問3で14点。大問5で4点の計18点		

	令和7年度(2025)	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)
問題量(A4で)	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分
小問数	39問	40問	39問	39問	37問
論述問題の数	8問	6問	9問	7問	7問
論述問題配点	16点	12点	18点	14点	15点
受験者平均点	27.2点	32.3点	25.1点	28.5点	35.1点

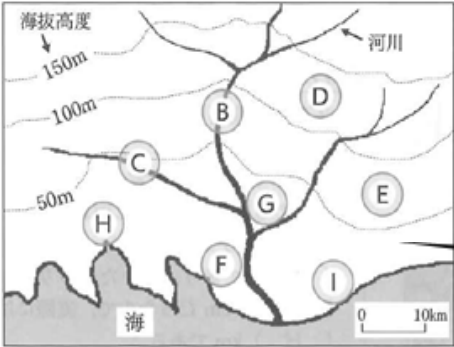
【出題の傾向と対策】

①地図の読み取り問題が出題されるので、図や資料を用いた問題を数多く解いておく。

2021年度【5】(2)

(略)資料3は河川水系の模式図を示したものである。模式図中の地点B～Iにおける災害や防災について述べた文として最も適当なものを、ア～エから1つ選び、記号を書きなさい。なお、模式図以外の条件は考えないものとする。

資料3



- ア BよりもCの方が、同じ規模のダムを建設した際に、河口部の洪水を防ぐ効果が高い。
- イ DよりもEの方が、同じ面積の森林を伐採した際に、河口部での洪水の危険性が高くなる。
- ウ FよりもGの方が、堤防で囲まれた輪中が形成されやすい。
- エ HよりもIの方が、津波の被害が大きくなる可能性が高い。

・ただ資料を読み取るだけでなく、資料から地理的条件を考え、さらに選択肢の正誤を判断することが必要。知識だけでなく、思考力、読解力が問われる出題。

②教科書に掲載されている資料や図などを意識しながら学習する。

2024年度【2】(4)

(略)琉球王国が資料4中の「万国のかけ橋」と自ら名乗っている理由を「貿易」の語句を用いて、15字以内で書きなさい。

資料4 琉球国は南海の景勝の地にあり、…中国や日本とは親密な関係にある。この二つの国の間にあってわき出る理想の島である。船をもって万国のかけ橋となり、外国の産物や宝物が至るところに満ちている。

資料4は15世紀に尚氏が首里城正殿にかけさせた鐘の銘文である。このような教科書に掲載されている図や写真を使って答えを求める知識が必要である。

③必要な情報は何かを考える問題も出される。資料から何が読み取れるか考える癖をつける。

2022年度【4】(3)

太郎さんと花子さんは、「経済のグローバル化」というテーマで探究学習を行った。次は二人の会話文である。

(略)

太郎:現在の日本は、貿易によって高い経済力を維持している貿易中心の国と言えますね。

花子:しかし、cこの資料から考えると、必ずしも貿易中心の国とは言えないのではないのでしょうか。

(3) 下線部cに関連して、花子さんは資料3中のア～オのうち2つのデータを組み合わせて太郎さんに反論した。花子さんが用いたデータとして適当なものを、ア～オから2つ選び、記号を書きなさい。

資料3

	ア	イ	ウ	エ	オ
	人口密度 (人/km ²)	輸入額 (百万ドル)	1人当たり 国民総生産 (ドル)	1人当たり 輸出額 (ドル)	経済成長率 (%)
日本	330.1	720,803	40,063	5,562	0.30
韓国	510.5	502,758	32,143	10,592	2.00
タイ	135.7	238,924	7,785	3,524	2.30
オランダ	411.6	635,678	53,053	41,445	1.70
ドイツ	233.7	1,233,978	46,232	17,834	0.60
メキシコ	64.9	482,613	9,849	3,611	-0.10

日本の経済が貿易中心で回っているわけではないことを示すデータは何か考える必要がある。

(注)統計年次は2019年。(『世界国勢図会2021/22』他より作成)

④ 思考力と表現力が問われるので、普段から読み取りや論述系の問題に慣れておく。

2025年度【5】(1)④

太郎さんは、調べ学習を進めていく中で、インドネシアに環境問題があることを知り、資料4を見つけた。インドネシアの環境問題を、インドネシアの漁業等に関する資料4を参考にして、漁業の振興と関連付けて書きなさい。

資料4

○マングローブとエビ養殖池

(「国際緑化推進センターホームページ」より作成)

○エビ養殖生産量の推移

年	生産量
1980	20
1990	100
2000	150
2010	350

○マングローブ面積の推移

年	面積
1980	4,200
1990	3,500
2000	3,300
2010	3,000

マングローブ面積の推移とエビ養殖生産量の推移の因果関係を、写真をヒントに考える。

解答

2021年度【5】(2)ウ

2024年度【2】(4) (例) 中継貿易を行っていたから。

2022年度【4】(3)ウ・エ

2023年度【5】(1)④ (例) エビ養殖生産量を増やすために養殖池を造った結果、マングローブ面積が減少したこと。